

平成16年度総会

第6回講演会・講習会に先がけ、近畿教育オーディオロジー研究協議会の平成16年度総会が開かれました。昨年度の活動報告と今年度の活動計画、昨年度の会計報告が出されました。また、新役員の提案もあり、すべて承認をいただきました。

最後に会長の奈良県立ろう学校長の辻寛司先生の挨拶で、総会を終了いたしました。

第6回講演会



8月18日午前の講演会では、講師に元愛知県立岡崎聾学校長の市橋詮司先生をお招きして、『聾学校と特別支援教育』とのテーマでご講演をいただきました。

この講演では、聾学校の現状（主に反省するところ）と課題、および課題を解決するために検討が必要なことを具体的に示されました。

現状については、聾学校に在籍する児童・生徒の数が減少しており、なぜそのような状況に陥ったか原因の究明と解決策を講じる必要があることをまず話されました。次に、指導においては、口話法でおこなってきたことを反省し、

個々の子どものニーズへの対応を考えるべきであり、自由意志によりコミュニケーションモードが選択できるような選択肢が用意されなければならないと話されました。

聾学校の中で、手話を中心とするグループ、聴覚・音声を中心とするグループ、口話・キュードスピーチを中心とするグループのように作り、自分自身にあったモードを選択できるようにする、また、それぞれのグループ間での交流もおこなうなど融合教育が求められるということでした。

今後聾学校を発展させていくためには、次のような発想の転換が必要であり、魅力を生み出すことが最重要課題であるとまとめられました。

- ・聾学校の存在意義の転換（特殊学校から特別支援学校へ）
- ・専門性の転換（新たな専門性の確立）
- ・聾学校自身のノーマライゼーション（インクルーシブ時代における聾学校作り）
- ・学力観、指導観の転換

- ・集団主義から脱却して個性、個別を基本にすることへの教育観の転換
- ・言語とコミュニケーション、手話についての考え方の転換
- ・能力と活動の関係のとらえ方の変換
- ・付加価値的な考え方のとらえ方
- ・ハードからソフトへの転換

講習会

8月18日・19日の2日間にわたって、講習会が開かれました。講演会・講習会に計261名の参加者を迎えて開催することができました。

各講座とも多くの参加希望がありましたが、その中でも愛知淑徳大学の井脇貴子先生による『人工内耳の基礎』と、京都府立聾学校の佐藤貞夫先生による『発音指導(初級・中級・上級)』、また『教育オーディオロジーの基礎』には50人を超える参加者があり、関心の高さが伺えました。また、新たに設けた『支援教育のすすめ方』では、各校での実践の交流も行いました。

会場をお貸しくださいました大阪府立生野聾学校には、期間中たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

講習会・講習会アンケートから

～講演会について～

- ・ 特別支援教育の流れの中で、ろう児の集団・ろう学校を大切に思う先生の気持ちが伝わりました。
- ・ 集団の大切さを改めて知りました。学年対応の学力をつけた具体的な指導をもう少し教えていただきたいかったです。
- ・ 聾学校の現在置かれている状況・問題点について、大変示唆に富むお話でした。これからの聾学校が進むべき確かなビジョンを持つことが大切であると改めて考えさせられた。



～講習会について～

- ・ 実践のビデオがあって分かりやすかったです。子どものイキイキした姿が良かった。
- ・ 実際に補聴器をさわって実習することができたので、非常に理解しやすかった。
- ・ たくさんの講座から必要に応じて選べてうれしい。今困っているところへ参加ができる。
- ・ 参加者の幅が広いので、質問や詳しく聞きたいことを申し込み時に伝える方法をとってはどうか。
- ・ 校内だけでは十分に研修ができないことも多く、夏休みの研修会はありがたいです。



教育オーディオロジーの基礎



難聴学級の取り組み



特別支援教育のすすめ方



発音指導

～来年への希望～

- ・ 重複障害児への指導についての実践。
- ・ 聴覚障害児・者の「生活」という視点での講座がほしいと思います。
- ・ ワークショップ形式の講座もほしい。
- ・ 初級より少し進んだ、専門的な内容の講座を設けてほしい。
- ・ 各聾学校での中・高の自立活動の取り組みが聞きたい。



この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。
来年度の講演会・講習会に向けて活かしてまいります。アンケートへのご協力、ありがとうございました。

今後の活動計画

平成17年	1月14日	第3回代表委員会（奈良県立ろう学校） 専門研修会
	1月15日	冬の学習会 テーマ：『秋田県における新生児スクリーニングの取り組み』 『ろう・難聴教育への提言～耳鼻咽喉科の立場から～』 講師：中澤 操 先生 秋田県心身障害者リハビリテーションセンター 耳鼻科 時間：10:00～15:00 会場：(奈良市男女共同参画センター 大会議室) (JR奈良駅から徒歩1分)
	2月中旬	機関紙第13号発行
	3月中旬	収録発行

各地の研究会案内

詳細は本会ホームページをご覧ください

奈良県難聴・言語障害児教育研究会 10月例会

日時:平成16年10月29日(金)
午後2時30分～午後4時30分
場所:河合町立河合第二小学校
2階図書館

〔北葛城郡河合町星和台2-7〕

内容:

(1) 実践発表

「6年間の取り組み - ろう学校
・手話サークルとの交流を通して」

河合第二小学校 伊勢和彦先生
不二門雅代先生

(2) 研究協議

問い合わせ先:

奈良市立椿井小学校

きこえの教室 森田満里子

TEL:0742-23-7062

FAX:0742-23-7063

第29回聴覚障害児教育共同研究会

趣旨:聴覚障害児の教育について互いの実践の交流と、より良い指導のあり方についての研究をとおして、聴覚障害児教育が充実・発展することを目標とし、指導上の具体的な問題について連絡・研究・協議する。

期日:平成16年11月2日(火)

会場:大阪府立堺聾学校

(堺市百舌鳥陵南町1丁)

日程・内容:

・受付 9:30～10:10

・公開授業(幼稚部、小学部、

中学部、高等部)各教室
・全体会 13:30～15:30
体育館(記念講演会)
金沢大学助教授 武居渡先生
テーマ:『子どもの育ちと
「ことば」』

情報保障はリアルタイム字幕
提示と手話通訳を実施します

・分科会 15:30～17:00

会議室及び視聴覚室

締め切り:10月20日(水)

下記問い合わせ先に照会の上、
申し込んでください。

問い合わせ先:大阪府立堺聾学
校小学部共同研係

TEL:072-257-5471

FAX:072-257-3310

E-mail:tokato@sakai-r.osaka-
c.ed.jp

第3回共同研究会

奈良、阪神間、大阪、京都の難聴・
言語に関する研究会の共同研究会

日時:2004年11月24日(水)

午後1時30分～4時30分

会場:京都市立二条中学校

(京都市上京区竹屋町千本東入
主税町911)

地下鉄東西線「二条駅」

JR嵯峨野線「二条駅」

いずれも下車徒歩約10分

日程

1:30 受付開始

2:00 開会・あいさつ

2:15 授業公開(難聴学級)

3:15 選択

・二条中学校難聴学級の取り組
み紹介

・中学生から小学生(いずれも

聴覚障害児)へ、入学にあた
ってのアドバイス

4:00 質疑応答

4:30 閉会

参加申し込み:11月10日まで
に下記に申し込んでください。

問い合わせ先:

京都市立二条中学校

難聴学級 高井小織

TEL:075-821-1196

FAX:075-821-1197

第3回京都聴覚障害教育共同研究会

京都言語障害研究会との合同研究会

日時:平成16年11月27日(土)

会場:京都府立口丹波勤労者

福祉会館 大会議室

(船井郡八木町西田金井畠9)

9:45～10:15 受付・開会挨拶

10:15～12:15 講演

「中途失聴者・難聴者の社会参
加のためのリハビリテーション
プログラムについて」

京都市聴覚言語障害センター

言語聴覚士 根岸信洋先生

12:15～13:30 昼食・休憩

13:30～16:30 講演

「子どものことばを支える関わり」

独立行政法人国立特殊教育総合
研究所 牧野泰美先生

16:30～ まとめ・閉会

会費:

会員1000円・会員外3000円

問い合わせ先:京都聴覚障害教
育共同研究会事務局

京都府立聾学校聴能言語室

細矢義伸

TEL:075-461-8137

FAX:075-461-8122

近畿教育オーディオロジー

研究協議会事務局

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

事務局長 中井 弘征

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp